2.3 地区別(居住誘導区域別)の防災上の課題の整理

災害リスクの分析を踏まえ、居住誘導区域等の災害リスクの高い地域の課題を以下の通り整理しました。なお、以下では洪水浸水想定区域は L2(想定最大規模)の区域を指すものとします。

■佐野エリア・佐野新都市エリア

居住誘導区域内のリスクのある区域について、災害リスクから見た問題と課題を下記のように整理しました。

表 2-8 居住誘導区域内の災害リスクと課題

区域	災害リスク	問題	課題
西部 (秋山川左岸の堀米町・天神町・朝日町・大蔵町・天明町等)	・3.0m未満の浸水想定 ・1 週間未満の浸水継続	・ 建物が多く、人口密度も 30～60 人/ha 以上に達するが、1階建ての建物が一定数立地しており、垂直避難に困難が生じるおそれ ・ 佐野厚生総合病院等の有床の医療機関を含む要配慮者利用施設や無床の医療機関、商業施設が立地しており、洪水発生時に機能障害やアクセスが困難になるおそれ	① 洪水に備えた治水対策や、住宅等の浸水対策、早期避難の体制構築が必要。 ② 医療機関等の重要な都市機能については、浸水時の機能維持や、アクセスの確保、早期復旧への備え、要配慮者の安全な避難確保が必要。
東端部 (関川町等)	・3.0m未満の浸水想定 ・24 時間未満の浸水継続	・ 洪水浸水想定区域内に建物が多く、人口密度も 50 人/ha 以上となっていることから、洪水発生時には大きな被害が発生するおそれ ・ 1 階建ての建物も一定数立地しており、垂直避難に困難が生じるおそれ	③ 洪水に備えた治水対策や、住宅等の浸水対策、早期避難の体制構築が必要。
南東部 (新都市)	・3.0m未満の浸水想定 ・12 時間未満の浸水継続	・ 新都市では大型商業施設が立地しており、洪水発生時には機能障害が発生するおそれ	④ 大型商業施設等の都市機能については、浸水時の機能維持や、早期復旧の備え、帰宅困難者の受け入れが必要。
中央部 (佐野駅周辺や佐野駅北側)	・0.5m 未満の浸水想定	・ 避難所や市役所本庁舎が立地しており、洪水発生時に施設の機能障害が生じたり、アクセスが困難になるおそれ	⑤ 市役所本庁舎等の重要な都市機能については、浸水時の機能維持や、アクセスの確保、早期復旧への備えが必要。また、浸水時の避難所の機能維持やアクセスの確保が必要。

次に、居住誘導区域外のリスクのある区域について、災害リスクから見た問題と課題を下記のように整理しました。

表 2-9 居住誘導区域外の災害リスクと課題

区域	災害リスク	問題	課題
居住誘導区域外	・洪水浸水想定区域(浸水深、浸水継続) ・家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食・氾濫流) ・土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊) ・地震	・ 1 階建ての建物や人口密度が一定程度あり、垂直避難に困難が生じるおそれ ・ 医療施設や商業施設、要配慮者利用施設、避難所も立地しており、洪水時の機能障害やアクセス困難、孤立等のおそれ ・ 家屋倒壊等氾濫想定区域内の建物は、洪水発生時に倒壊のおそれ ・ 土砂災害警戒区域内に建物が多く立地しており、土砂災害発生時の被害が大きくなるおそれ ・ 地震による大規模盛土造成地の法面崩壊のおそれ	⑥ 洪水に備えた治水対策や、居住誘導区域内への誘導を含む安全性の高い土地利用、早期避難の体制構築が必要。 ⑦ 医療施設等の重要な都市機能については、浸水時の機能維持や、アクセスの確保、早期復旧への備えが必要。また、浸水時の避難所の機能維持やアクセスの確保が必要。 ⑧ 土砂災害リスクのある区域では、急傾斜地対策等、総合的な土砂災害対策が必要。また、居住誘導区域内への誘導を含む安全性の高い土地利用、早期避難の体制構築が必要。 ⑨ 大規模盛土造成地等の危険調査及び監視等、安全性の高い土地利用の推進が必要。

次に、居住誘導区域内及び周辺において、共通する災害リスクから見た問題と課題を下記のように整理しました。

表 2-10 居住誘導区域内外共通の災害リスクと課題

区域	災害リスク	問題	課題
居住誘導区域内及び周辺	・地震	・ 地震発生による火災のおそれ ・ 地震発生による建物倒壊のおそれ	⑩ 地震に備えた建物の耐震化、不燃化や空家除却等の対策が必要。
	・洪水浸水想定区域(浸水深、浸水継続)	・ 道路、アンダーパスの水没によりバス、鉄道の運行に支障が生じるおそれ ・ 緊急輸送道路の水没による救援物資の搬送等への影響	⑪ 洪水発生時の人や物の緊急輸送も見据え、道路機能や交通機能維持や早期復旧への備えが必要。

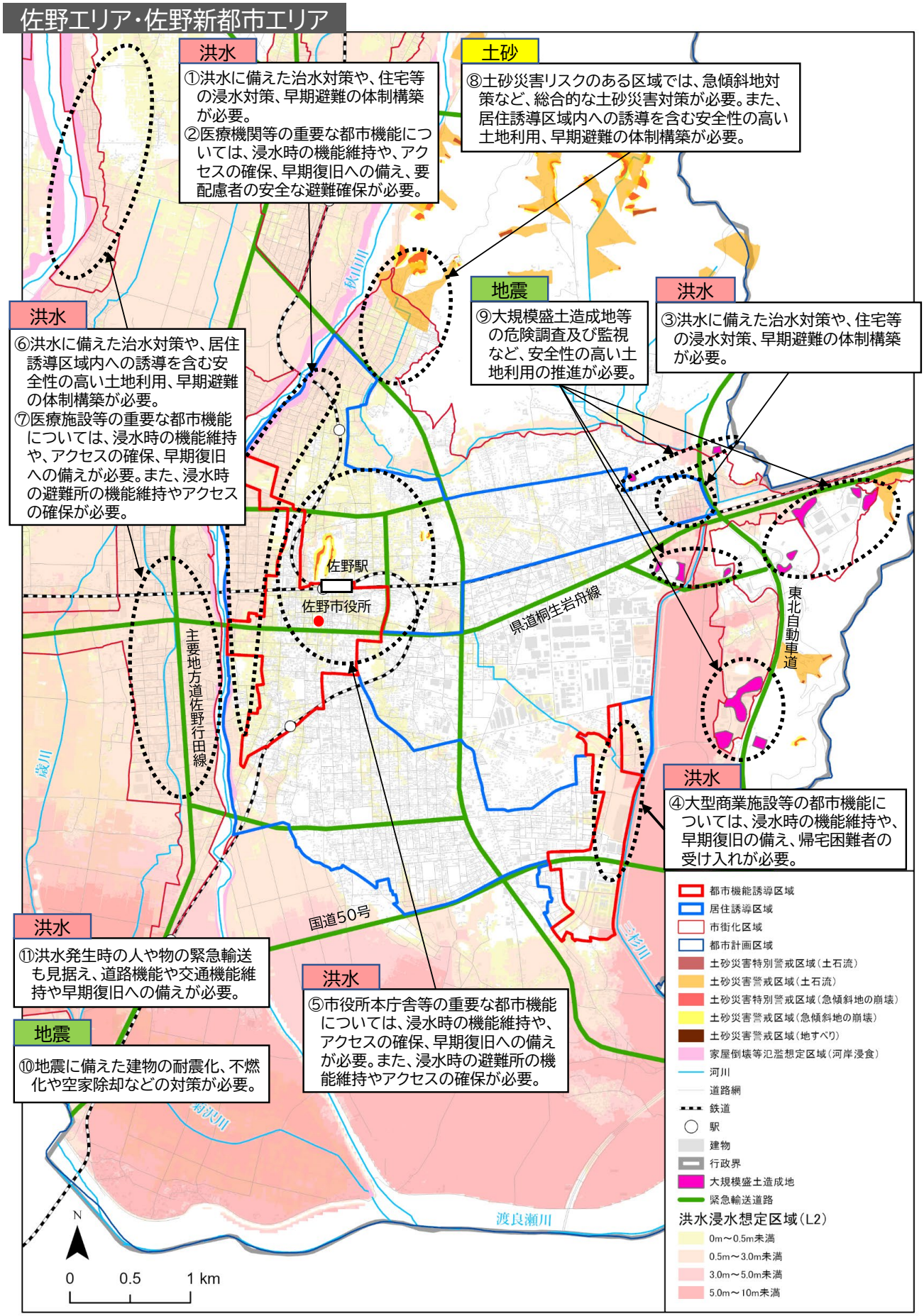

図 2-21 防災上の課題整理（佐野エリア・佐野新都市エリア）

■田沼エリア

居住誘導区域内外の災害リスクから見た問題と課題を以下の通り整理しました。

表 2-11 居住誘導区域内の災害リスクと課題

区域	災害リスク	問題	課題
居住誘導区域内の西部	・0.5m 未満の浸水想定 （西端と南端の一部では 3m 未満） ・12 時間未満の浸水継続	・ 建物が多く、人口密度も 30～40 人/ha に達するが、1 階建ての建物が一定数立地しており、垂直避難に困難が生じるおそれ ・ 避難所や行政センター、商業施設、要配慮者利用施設等が立地しており、洪水発生時に機能障害が生じたり、アクセスが困難になるおそれ	⑫ 洪水に備えた治水対策や、住宅等の浸水対策、早期避難の体制構築が必要。 ⑬ 行政センター等の重要な都市機能については、浸水時の機能維持やアクセスの確保、早期復旧への備えのほか、災害時の避難所の機能維持やアクセスの確保、要配慮者の安全な避難確保が必要。

表 2-12 居住誘導区域外の災害リスクと課題

区域	災害リスク	問題	課題
居住誘導区域外	・洪水浸水想定区域（浸水深、浸水継続） ・家屋倒壊等氾濫想定区域	・ 1 階建ての建物や人口密度が一定程度あり、垂直避難に困難が生じるおそれ ・ 洪水浸水想定区域に避難所が立地しており、洪水発生時に機能障害やアクセスが困難になるおそれ ・ 洪水浸水想定区域に商業施設や要配慮者利用施設が立地しており、機能障害が生じたり、アクセスが困難になるおそれ ・ 家屋倒壊等氾濫想定区域に一定数の建物が立地しており、洪水発生時に建物倒壊のおそれ	⑭ 洪水に備えた治水対策や、居住誘導区域内への誘導を含む安全性の高い土地利用、早期避難の体制構築が必要。 ⑮ 災害時の避難所の機能維持やアクセスの確保が必要。 ⑯ 商業施設等の都市機能等については、浸水時の機能維持や、早期復旧の備え、要配慮者の安全な避難確保が必要。

表 2-13 居住誘導区域内外共通の災害リスクと課題

区域	災害リスク	問題	課題
田沼エリアの居住誘導区域及びその周辺	・地震	・ 地震発生による火災のおそれ ・ 地震発生による建物倒壊のおそれ	⑰ 地震に備えた建物の耐震化、不燃化や空家除却等の対策が必要。
	・洪水浸水想定区域（浸水深、浸水継続） ・土砂災害警戒区域	・ 道路の水没や土砂災害によりバス、鉄道の運行に支障が生じるおそれ ・ 緊急輸送道路の水没、土砂災害による救援物資の搬送等への影響	⑱ 水害時の人や物の緊急輸送も見据え、道路機能や交通機能維持や早期復旧への備えが必要。

田沼エリア

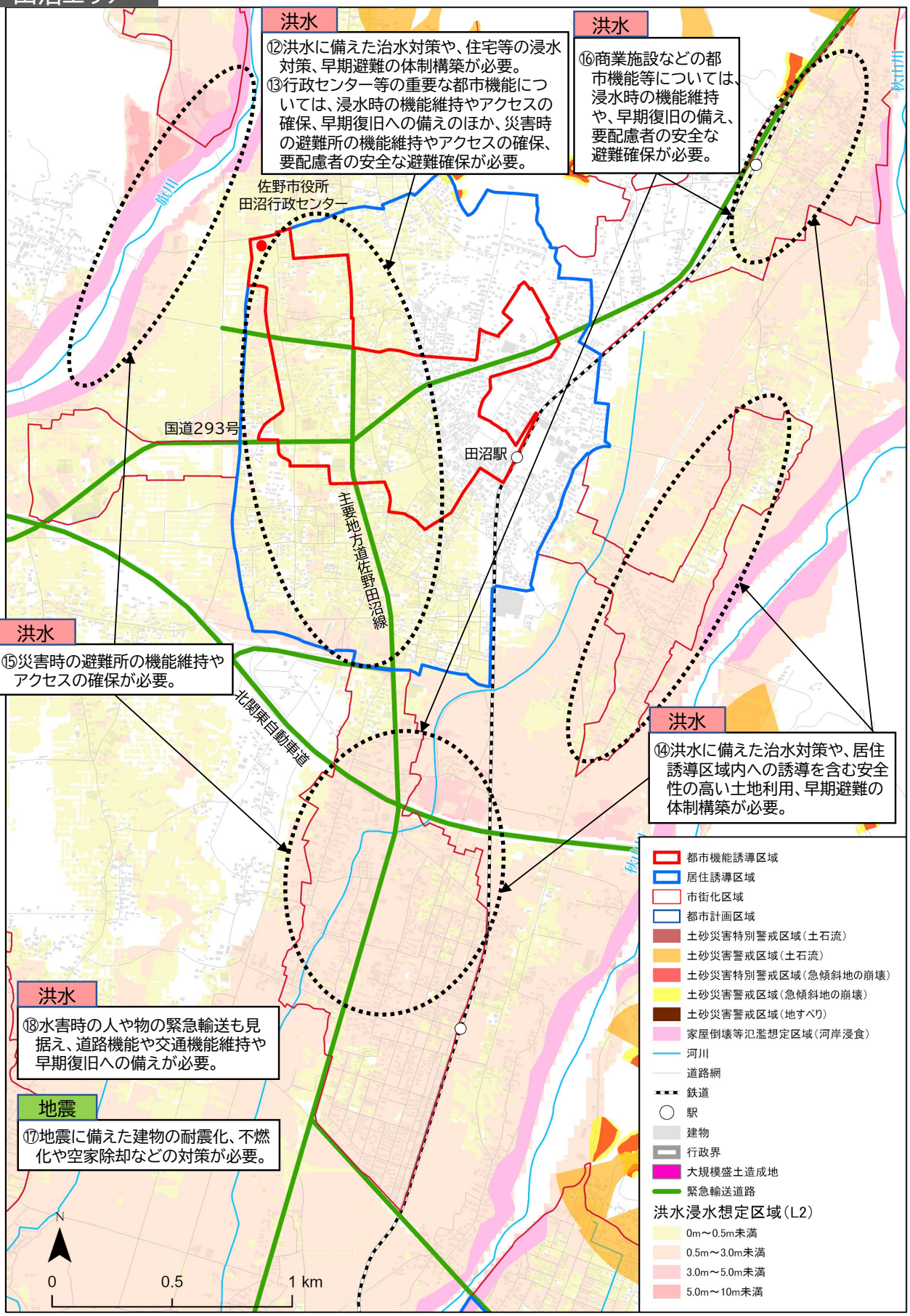

図 2-22 防災上の課題整理（田沼エリア）

■葛生エリア

居住誘導区域内外の災害リスクから見た問題と課題を以下の通り整理しました。

表 2-14 居住誘導区域内の災害リスクと課題

区域	災害リスク	問題	課題
居住誘導区域の南部	・3.0ｍ未満の浸水想定 ・12 時間未満の浸水継続	・ 建物が多く、人口密度も 20～40 人/ha に達するが、1 階建ての建物が一定数立地しており、垂直避難に困難が生じるおそれ ・ 避難所や行政センター、医療施設、商業施設、要配慮者利用施設が立地しており、洪水発生時に機能障害が生じたり、アクセスが困難になるおそれ	⑲ 洪水に備えた治水対策や、住宅等の浸水対策、早期避難の体制構築が必要。 ⑳ 行政センター等の重要な都市機能の浸水時の機能維持や、アクセスの確保、早期復旧の備えのほか、災害時の避難所の機能維持やアクセスの確保、要配慮者の安全な避難確保が必要。

表 2-15 居住誘導区域外の災害リスクと課題

区域	災害リスク	問題	課題
居住誘導区域外	・洪水浸水想定区域（浸水深、浸水継続） ・土砂災害警戒区域 ・家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）	・ 1 階建ての建物や人口密度が一定程度あり、垂直避難に困難が生じるおそれ ・ 土砂災害警戒区域内に多くの建物が立地しており、土砂災害発生時には大きな被害が生じるおそれ ・ 家屋倒壊等氾濫想定区域に一定数の建物が立地しており、洪水発生時には倒壊のおそれ	㉑ 洪水に備えた治水対策や、居住誘導区域内への誘導を含む安全性の高い土地利用の、早期避難の体制構築が必要。 ㉒ 土砂災害リスクのある区域では、急傾斜地対策等、総合的な土砂災害対策が必要。 また、居住誘導区域内への誘導を含む安全性の高い土地利用、早期避難の体制構築が必要。
	・地震	・ 地震による大規模盛土造成地の法面崩壊のおそれ	㉓ 大規模盛土造成地等の危険調査及び監視等、安全性の高い土地利用の推進が必要。

表 2-16 居住誘導区域内外共通の災害リスクと課題

区域	災害リスク	問題	課題
葛生エリアの居住誘導区域及びその周辺	・地震	・ 地震発生による火災のおそれ ・ 地震発生による建物倒壊のおそれ	㉔ 地震に備えた建物の耐震化、不燃化や空家除却等の対策が必要。
	・洪水浸水想定区域（浸水深、浸水継続） ・土砂災害警戒区域	・ 道路の水没や土砂災害によりバス、鉄道の運行に支障が生じるおそれ ・ 緊急輸送道路の水没、土砂災害による救援物資の搬送等への影響	㉕ 水害時の人や物の緊急輸送も見据え、道路機能や交通機能維持や早期復旧への備えが必要。

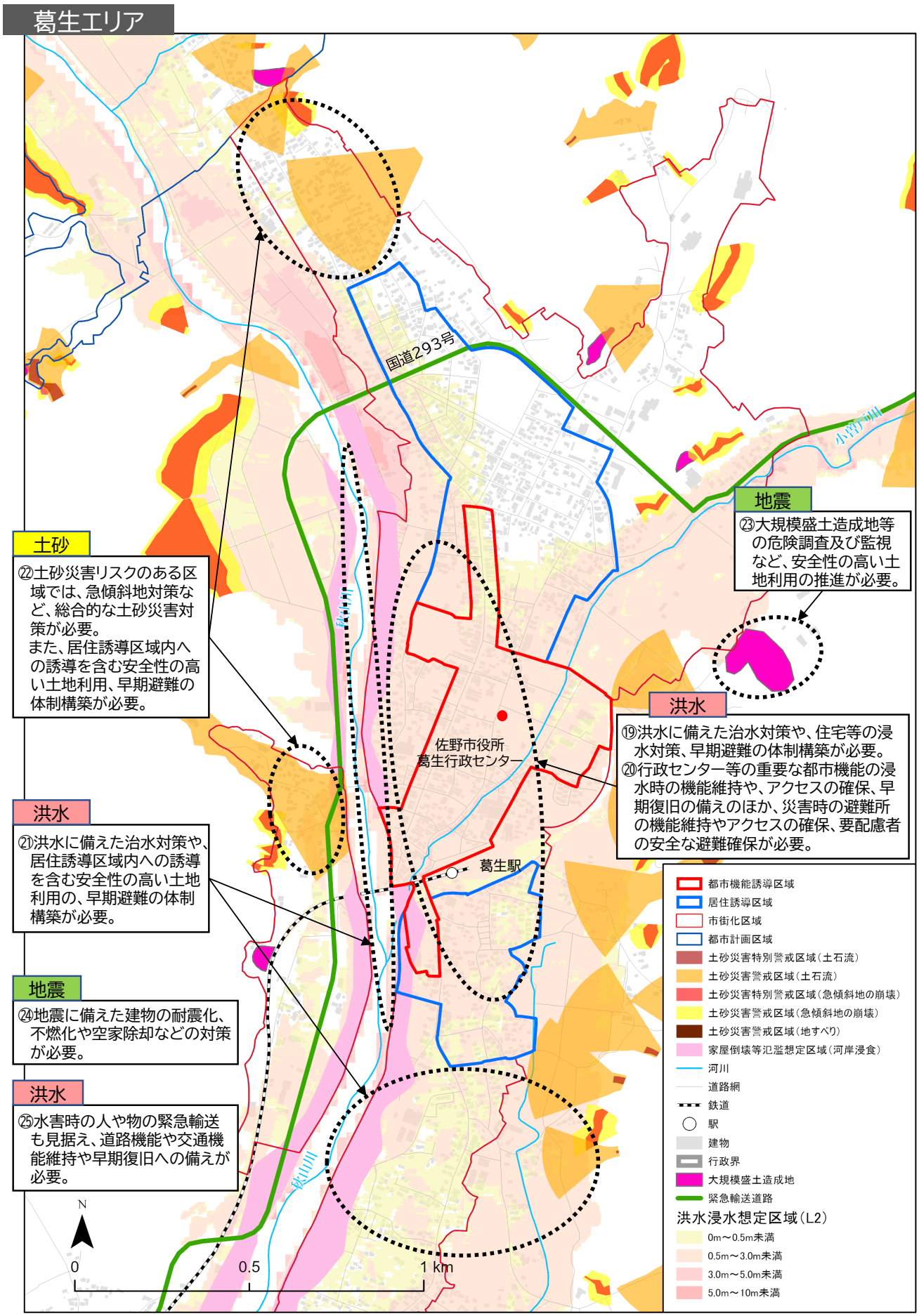

図 2-23 防災上の課題整理（葛生エリア）